



名古屋の偉人伝

No.38

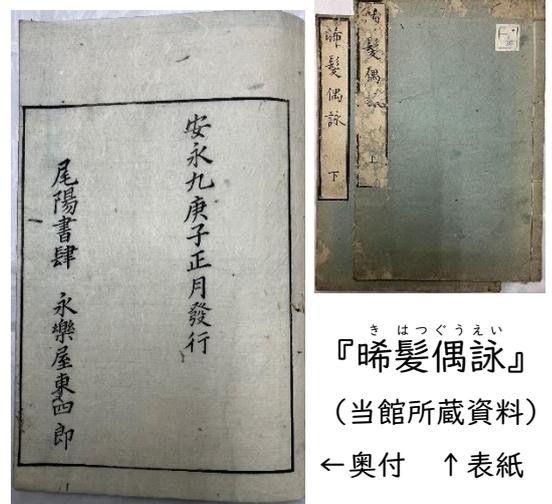
書肆永楽屋初代

片野東四郎(かたのとうしろう)の巻

ここがスゴイ！

三都にも名を知られた尾張における近世商業出版の先駆者！！

本居宣長の『古事記伝』を出版！



『きはつぐうえい 髪髻偶詠』
(当館所蔵資料)
←奥付 ↑表紙

こんな人生を送ってきました(経歴)

寛保元(1741)年生～寛政7(1795)年10月22日没。名は直郷。享年55歳。
名古屋の書肆である風月堂孫助に奉公。安永5(1776)年、35歳で独立し本町四丁目に開業。九代藩主宗睦による学術振興策の機運に乗り、「國侯御學校御用達」(國侯御學校とは藩校明倫堂のこと)として、『髪髻偶詠』始め尾張藩の儒学者や藩士の著作を出版。尾張藩重臣である横井千秋の働きかけにより、本居宣長の『古事記伝』の出版も手掛けた。蔦屋重三郎と連携して江戸へも進出し、永楽屋発展の確固たる礎を築いた。

もっとくわしく知りたいあなたに(参考文献)

- 『新修名古屋市史 第4巻』 新修名古屋市史編集委員会/編集 名古屋市 1999
- 『名古屋市博物館研究紀要 第7巻』 名古屋市博物館学芸課/編 名古屋市博物館 1984
- 『名古屋の出版 | 江戸時代の本屋さん』 名古屋市博物館/編 名古屋市博物館 1981
- 『尾張出版文化史』 太田正弘/著 六甲出版 1995
- 『江戸尾張文人交流録 | 芭蕉・宣長・馬琴・北斎・一九』 青木健/著 ゆまに書房 2011